

希少品種「旭りんご」を使った発泡酒

国際品評会で日本勢最高の二つ星！！

オホーツク・オーチャード株式会社(北見市)

篠根  果樹園

Shinone Orchard in Okhotsk



【組織等の概要】

- 代表者：代表取締役社長 篠根克典
- 設 立：昭和33年
- 経営面積：3ha、700本
- 開 園：8:30～13:00(平日)
8:30～15:30(土日祝祭日)
9月・10月は無休、11月は不定休
- 所在地：北見市昭和213-3
- 駐車場：あり/5台程度
- T E L：0157-25-5502
- U R L：<http://apple-shinone.com>

◇【取組の経過と概要】

- ◆ 大正時代に茨城県から入植、熊が歩き回る林野を開墾し畑作農業を始める。
- ◆ 昭和33年、りんご栽培に転換し篠根果樹園を設立、昭和中期「価格低迷・病気の発生・産地間競争」等によりオホーツク地域の多くのりんご農家が離農、他作物への転換をしてきたが地道な努力と地元のお客さんの支えによって果樹園経営を継続してきた。
- ◆ 平成22年、克典氏が果樹園経営に参加し、「ホームページ開設」「インターネット販売」開始、平成28年に法人化、オホーツク・オーチャード株式会社を設立した。
- ◆ 旭は甘い品種に押され、栽培されなくなり、それと共に、かつてオホーツク各地に多数あったりんご農家は激減、現在では北見市にわずかに残るのみとなった。
- ◆ 「歴史ある旭を忘れないでほしい」という思いと、オホーツクのりんご栽培存続への願いを込め、平成25年よりオホーツク・オーチャード株式会社生産の旭りんご100%を原料にシードルの開発を進め、平成29年9月国内では他に例のない商品「旭りんごのシードル」を発売した。

【取組の成果】

- 平成30年7月、日本シードルマスター協会が初開催し、世界8カ国、94銘柄が出品された国際品評会「ジャパン・シードル・アワード」のテイasting部門で日本勢最高の二つ星を獲得。
- 同品評会にて来場者の投票で決める「ボトルデザイン部門」にて3位受賞。ボトルのデザインは紋別市出身のデザイナー山中緑さんが中心となり、オホーツクの気候や自然を柔らかなタッチのイラストで表現。

【今後の展望】

シードルの売れ行きはゆっくりだが、受賞を機に、かなりの宣伝効果があった。

コンフィチュールなど他の加工品の販売促進につなげて行きたい。

【活用した支援施策】

小規模事業者持続化補助金